

(別紙様式2)

普及指導員調査研究報告書

課題名：「にじのきらめき」の安定生産技術の確立

所属名：下関農林事務所

担当者氏名：原田孝太、荒瀬奈緒、田中司、倉重真太郎

<活動事例の要旨>

高温耐性と多収を兼ね備える早生の有望品種「にじのきらめき」について、下関管内での品種特性を確認した。また、奨励品種化と今後の普及拡大を見据え、当該品種のほ場巡回や県農技センターからの情報収集等を踏まえて、管内法人へ品種特性等の理解促進を図った。今後は、安定して高い収量が確保できるように、肥料試験や様々な耕種条件でのデータ収集を継続し、下関地域での栽培ごよみ作成に繋げていく。

1 普及活動の課題・目標

近年、夏期の高温の影響により、水稻の収量及び品質低下が問題となっている。コシヒカリ・ひとめぼれ等の早生品種については、令和5年、6年に1等米比率が8割を下回り、生産者の収益に大きな影響を及ぼした。

このような中、JAを主体に管内で栽培実証が開始されている「にじのきらめき」は、高温耐性及び多収性、耐倒伏性を備えており、コシヒカリや同熟期品種の代替品種として有望視されている。また、「にじのきらめき」は令和9年に県奨励品種化が予定されており、管内での普及拡大が急速に進む見込みである。そこで、定点調査を通じて当該品種の品種特性を把握し、今後の安定生産に向け取組を進めた。

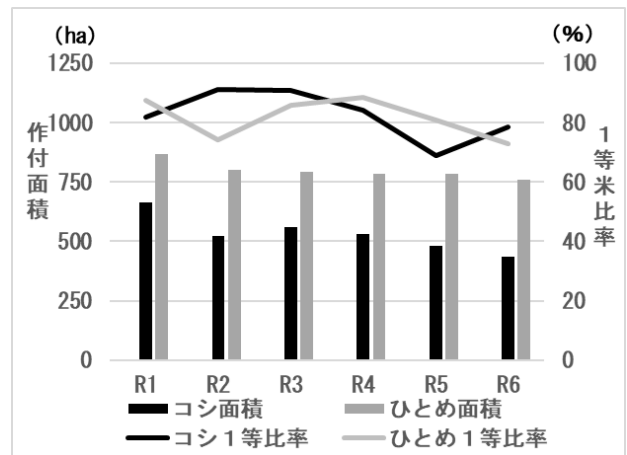


図1 面積と1等米比率の推移

2 普及活動の内容

(1) 品種特性の把握

- 「にじのきらめき」の品種特性を把握するため、また、生産者に適時必要な栽培管理を指導するため、旧下関市東部地区の沿岸部に展示ほを設置し、生育調査、成熟期調査、収量調査等を実施した。調査結果は、JAと農林事務所で構成する普通作PJチーム会議にて共有した。

(2) 品種の理解促進に向けたほ場巡回・視察の実施

- 「にじのきらめき」の品種特性を理解してもらうため、山口県農協下関集落営農法人協議会東部地区連携協議会の構成法人を対象として、出穂時期の7月下旬にほ場巡回を実施した。
- また、高温下の品質向上対策は地域全体が抱える課題でもあるため、山口県農協下関集落営農法人協議会で県農林総合技術センターを視察し、「にじのきらめき」を含めた高温耐性品種の特性や栽培ポイントについて研修を行った。



写真1 法人協東部地区ほ場巡回



写真2 農林総合技術センターへの視察

3 普及活動の成果

(1) 品種特性の把握

- ・展示ほでは、5月上旬の移植以降、深水管理が続いたことにより初期分げつが弱く、茎数・穂数は農研機構の示す栽培のめやす（最高茎数530本/㎡、穂数400本/㎡）より少なかったが、葉色が4.5程度で高く維持されたことで、最高茎数332本/㎡に対して穂数が324本/㎡となり、有効茎歩合は97%と高かった。
- ・7月下旬の出穂期以降、登熟期間中は高温・多照が続き、成熟期は8月下旬となった。出穂期から成熟期までの期間は40日間で、早生品種の登熟期間としてはやや長い。既存品種と比較して、穂長が長く、千粒重が重いため、登熟に時間を要するためと考えられる。
- ・その他、稈長が短く、倒伏のリスクは低いことが確認できた。
- ・坪刈収量は、精玄米重で718kg/10aと、多収であることが確認できた。また、品質（外観検査）も1等米の評価で、高温障害に起因する白未熟粒の発生はほとんど見受けられなかった。



写真3 JA職員による外観検査

(2) 品種の理解促進に向けたほ場巡回・視察の実施

- ・ほ場巡回や県農林総合技術センターへの視察を通じて、「にじのきらめき」の生育状況や穂が止め葉に隠れることで高温障害を回避する状況を生産者と一緒に確認することができ、品種特性の理解促進につながった。
- ・既に当該品種の栽培を開始している法人からは、次年度に作付拡大する意向が聞こえている。また、育苗供給及び共同乾燥施設の都合により、まだ栽培が叶わない法人についても試作してみたいとの意向が増えている。

4 今後の普及活動に向けて

「にじのきらめき」は現状、全農作成の栽培ごよみしかないが、今後、管内での生育調査を通じて、期待される収量水準（600kg/10a）を安定して達成できる栽培条件（施肥等）を整理していき、下関版の栽培ごよみの作成・ブラッシュアップを行っていく。

<調査データ>

1 展示ほの概要

- ・ほ場：下関市王喜（沿岸部、標高1.6m）
- ・施肥状況：新米育ち082・50kg/10a（総窒素分量：10kg/10a）
（移植同時施肥）

2 調査データ

(1) 生育ステージ

- ・移植時期：5/6
栽植密度：15.6株/m²（51.5株/坪）（平均植付本数 4本/株）
- ・最高分けつ期：7/1
- ・幼穂形成期：6/27
- ・出穂期：7/19
- ・成熟期：8/28（出穂期から40日）

(2) 生育推移

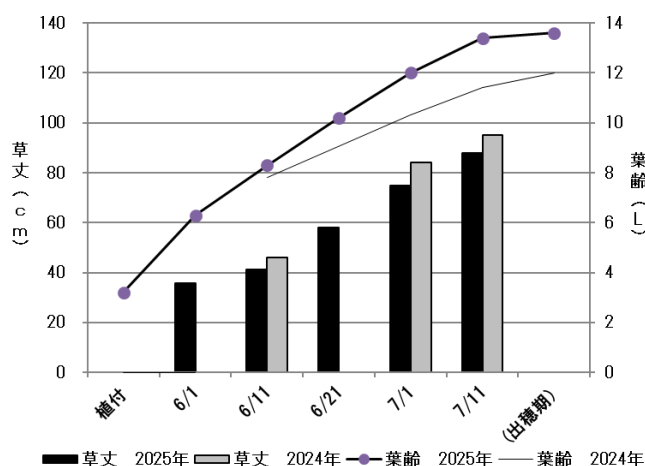


図2 草丈と葉齢

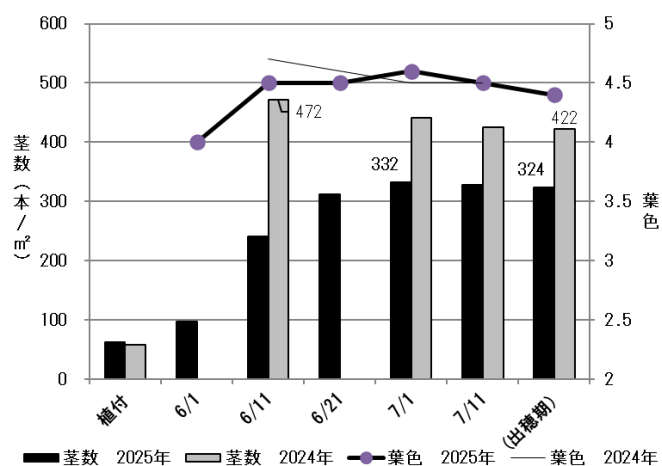


図3 茎数と葉色

(3) 成熟期・収量調査

- ・稈長：75cm
- ・穂長：23.3cm
- ・穂数：324本/m²
- ・m²あたり籾数：35.5千粒/m²（1穂籾数：110粒/穂）
- ・登熟歩合：83%
- ・千粒重：23.3g
- ・精玄米重：718kg/10a（篩1.85mm以上）

3 品質

- ・1等